

ドライブレコーダー
取り付けKIT

適応車種

ELIMINATOR400 (24)

商品NO.

39594

■ご使用前に必ずご確認ください■

※本商品のご使用前に最終項に記載のURL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。

※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

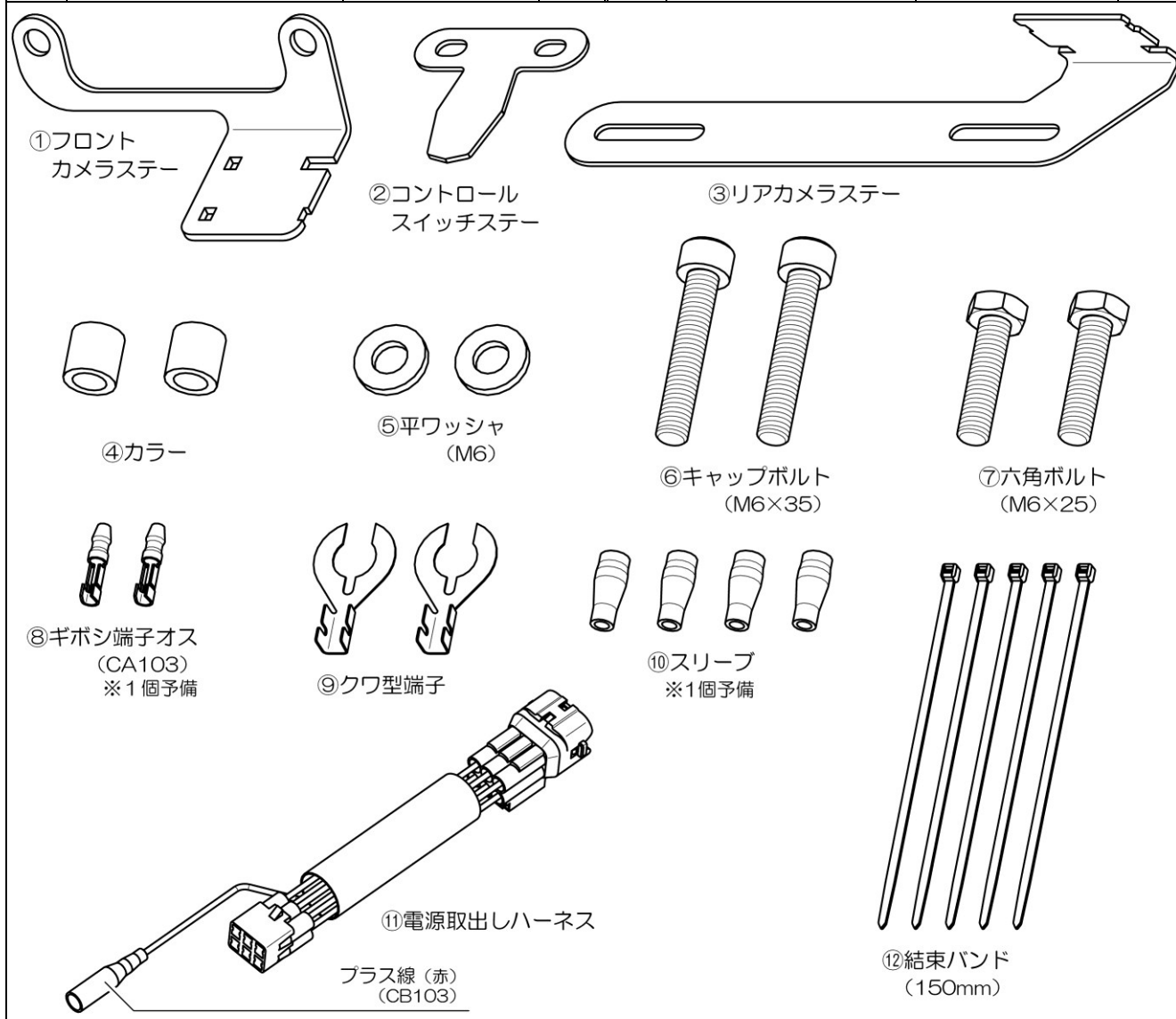
 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
---	---------------------	---	-------------------------	--	---------------------

 警告	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
 禁止	・本商品は記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。 ・本商品および装着品が車両各部や他部品に接触する取り付けはしないでください。 ・本商品を取り付けたことにより、運転操作に支障をきたす、または走行が妨げられる取り付けはしないでください。 ・本商品に曲げ・切削・溶接などの加工を行なわないでください。商品や車両側の破損だけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。
 実施	・取付前に取付箇所の純正部品や車両に欠損や破損がないか確認してください。異常が見られる場合は新品に交換するなどしてください。 ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。

 注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
 実施	・商品取り扱い時に商品の端面や商品に突起やバリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。パッケージの取り扱いも含め、取り扱いの際は必ず保護手袋を着用しケガには十分に注意して作業を行なってください。またエッジや突起部がある場合はヤスリなどを使用して適切な処理を行ない、取り除いてください。 ・本商品を開梱の際は構成部品に外観の不具合や異常がないことを必ず確認してください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。 ・作業は適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗または認証工場にて脱着作業をご依頼ください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や商品の損傷や不具合などに繋がる場合があります。 ・作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させたくうで行なってください。 ・取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性があります。 ・ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用し、所定トルクまたは車両メーカー発行のサービスマニュアルで指示されたトルクで確実に締め付けてください。 ・取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。その後は約 500km 毎に同様の作業を行なってください。
 その他	・本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。また商品保証は本商品のみが対象になります。 ・本商品はドライブレコーダー（Mio M820WD/Mio M760D）を取り付けるために設計されています。これ以外の商品や社外パーツの取り付けはしないでください。 ・本商品の車両への取り付けやカメラの装着はすべて使用者本人の責任において行なってください。 ・本商品で装着した物の脱落や破損、故障などにつきましては一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。 ・本商品は純正車両をベースに設計されております。社外パーツなどとの同時装着はできない場合がございます。 ・本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。塗装や小キズ、歪みなど程度の差がございます。 ・本商品はスチール製の塗装商品になります。ご使用の環境や経年変化によらず使用損耗や素材劣化（サビ含む）が、早期から進行する場合があります。 ・定期的に各部の点検を行なってください。また塗装のはがれやキズ、サビなどが発生した場合は適切な補修を行なってください。補修せずに使用すると素材劣化が促進され、本商品の破損だけでなく、車両へのダメージの原因となります。 ・本商品を取り付けた場合に車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く場合があります。 ・本商品、または本書でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	フロントカメラステー		1	⑦	六角ボルト	M6×25 (P 1. O)	2
②	コントロールスイッチステー		1	⑧	ギボシ端子オス	CA103 ※1 個予備	2
③	リアカメラステー		1	⑨	クワ型端子		2
④	カラー		2	⑩	スリーブ	※1 個予備	4
⑤	平ワッシャ	M6	2	⑪	電源取出しハーネス		1
⑥	キャップボルト	M6×35 (P1.O)	2	⑫	結束バンド	150mm	5



取付手順

A: フロントカメラステー	B: コントロールスイッチステー	C: リアカメラステー	D: 電源ハーネス & 本体	E: 保安基準
P3 参照	P4 参照	P5~9 参照	P10~14 参照	P15 参照

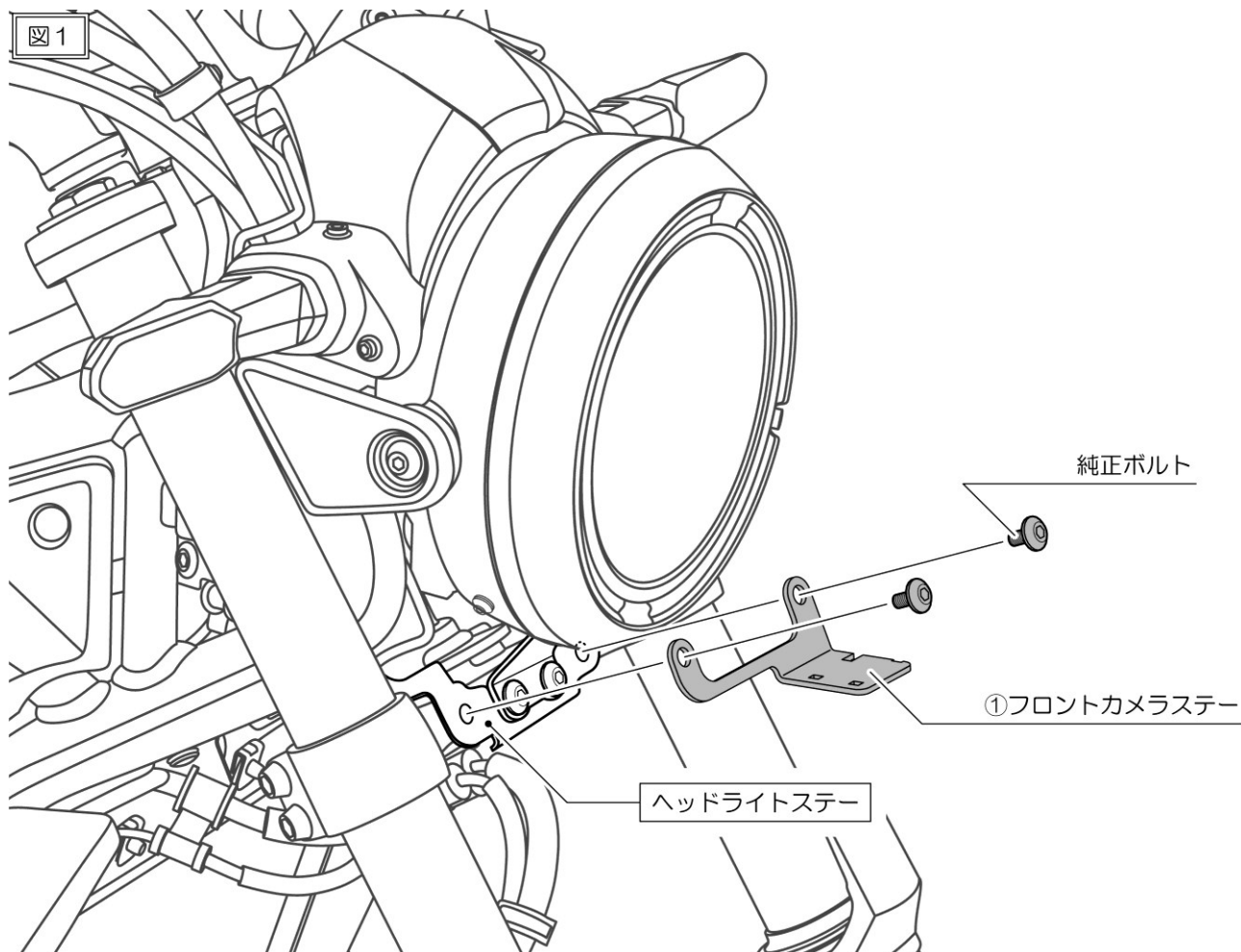
取付方法

【作業前の注意事項】

- ・純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行なってください。
- ・作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させた状態で転倒やケガなどに十分注意して作業してください。

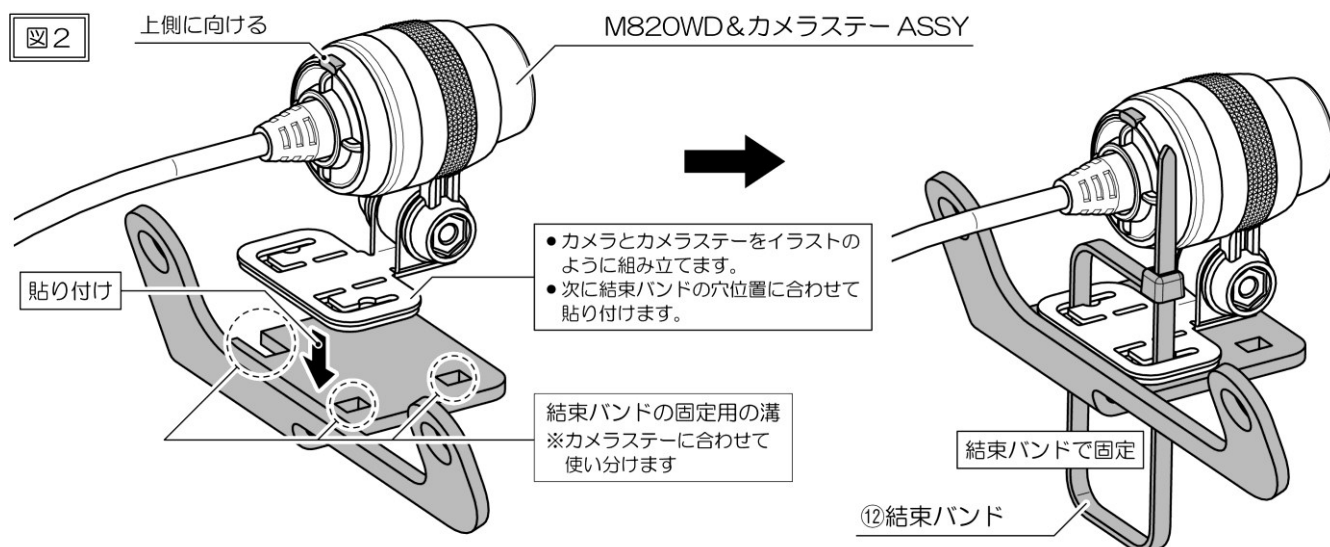
01. フロントカメラステーの取り付け 『A：フロントカメラステー』

- ・図 1 を参考に、ヘッドライト下側にあるヘッドライトステーを固定している純正ボルト（2本）を取り外します。
- ・純正ボルト（2本）を使用して、①フロントカメラステーをヘッドライトステーと一緒に共締めします。



02. フロントカメラの取り付け 『A：フロントカメラステー』

- ・図 2 を参考にフロントカメラステーを結束バンド用の穴の位置に合わせて①フロントカメラステーに貼り付けします。
※カメラとカメラステーの組み付け向きに注意してください。
- ・⑫結束バンドで固定します。

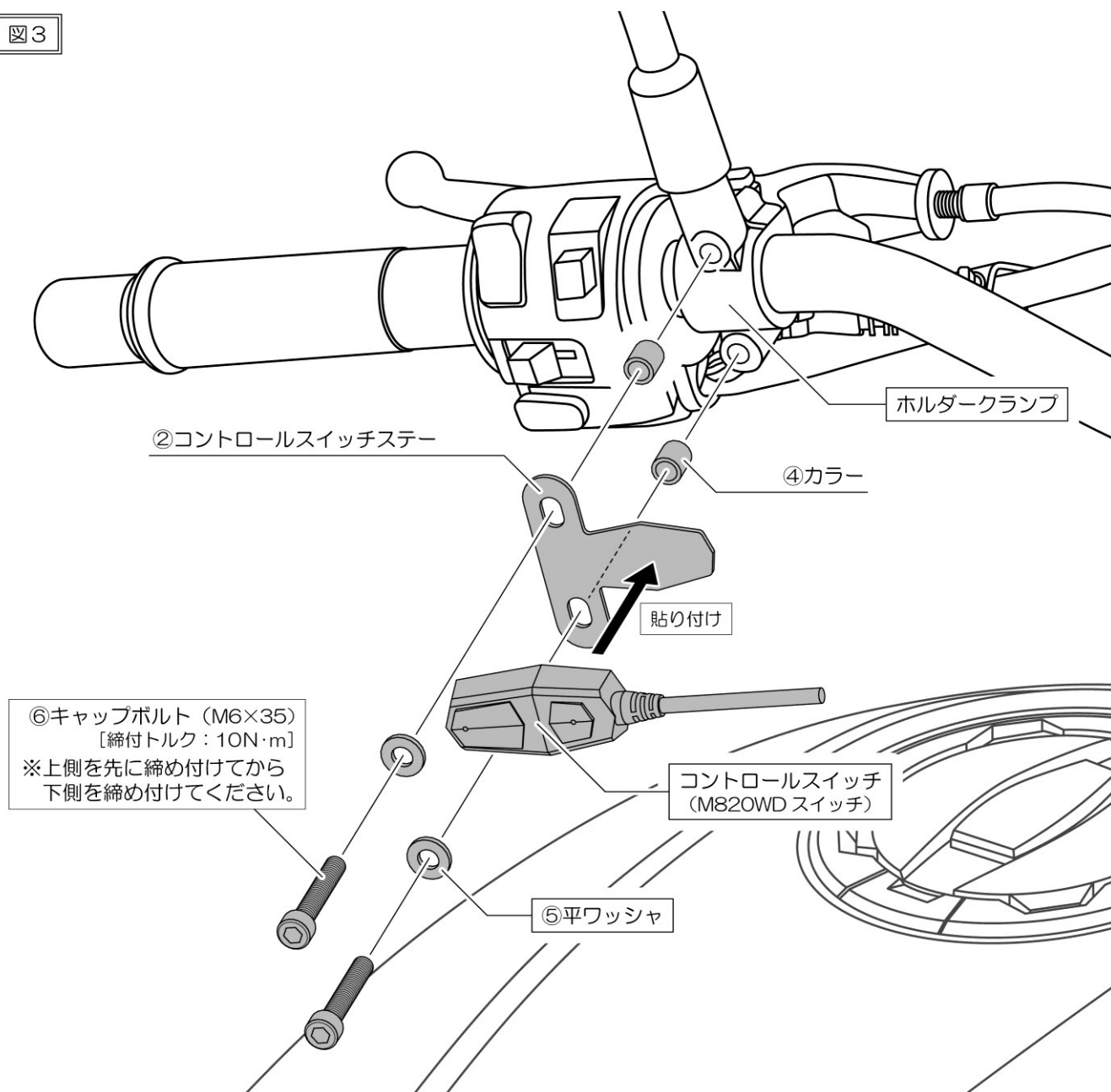


※イラストは M820WD を取り付ける場合のイメージイラストです。M760D を取り付ける場合はイラストを参考にお取り付けください。

03. コントロールスイッチステーの取り付け 『B: コントロールスイッチステー』

- 図 3 を参考に、左側のクラッチホルダーを固定している純正ボルト（2本）を外して、ホルダークランプを取り外します。
※クラッチホルダーを落下させないように注意してください。
- 先ほど外した場所へ、②コントロールスイッチステーを④カラー（2個）と⑤平ワッシャ（M6/2枚）、⑥キャップボルト（M6×35/2本）を使用してハンドルに取り付けます。

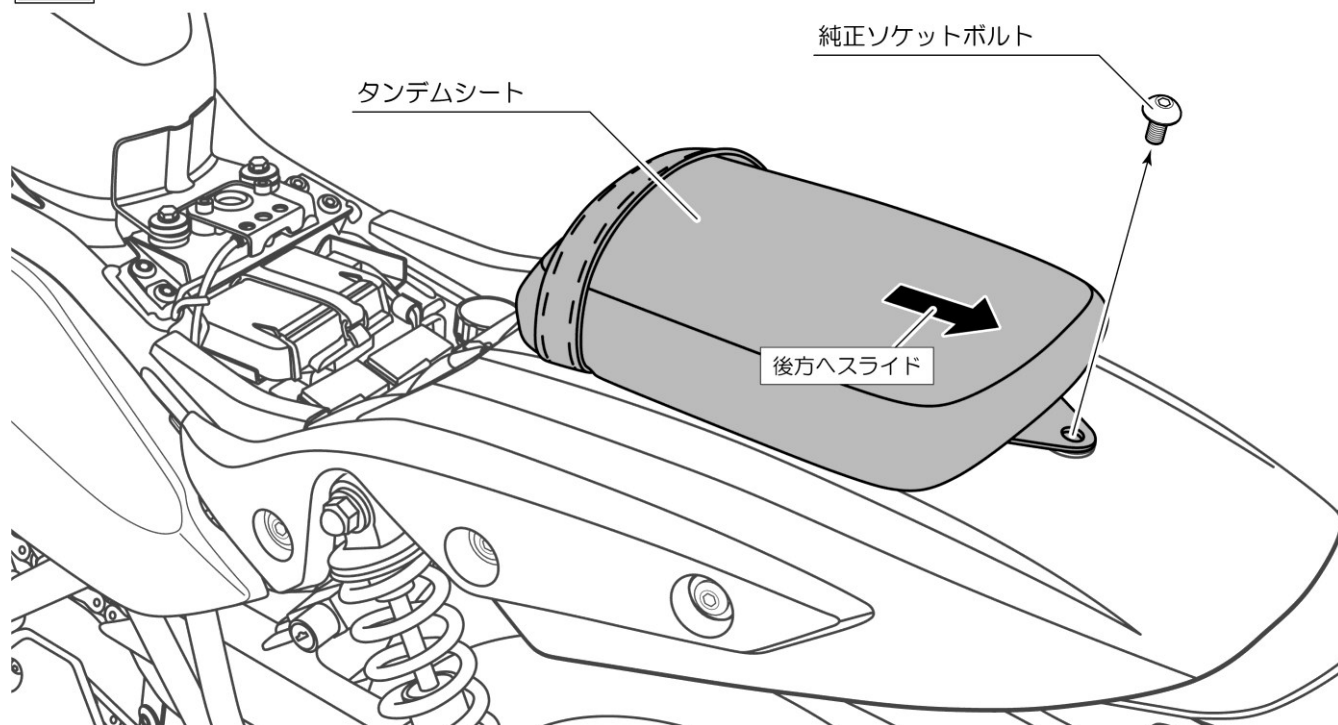
図 3



04. シートの取り外し 『C：リアカメラステー』

- ・純正シートを取り外します。
- ・図 4 を参考に、純正ソケットボルトを外して、タンデムシートを後方へスライドさせて取り外します。

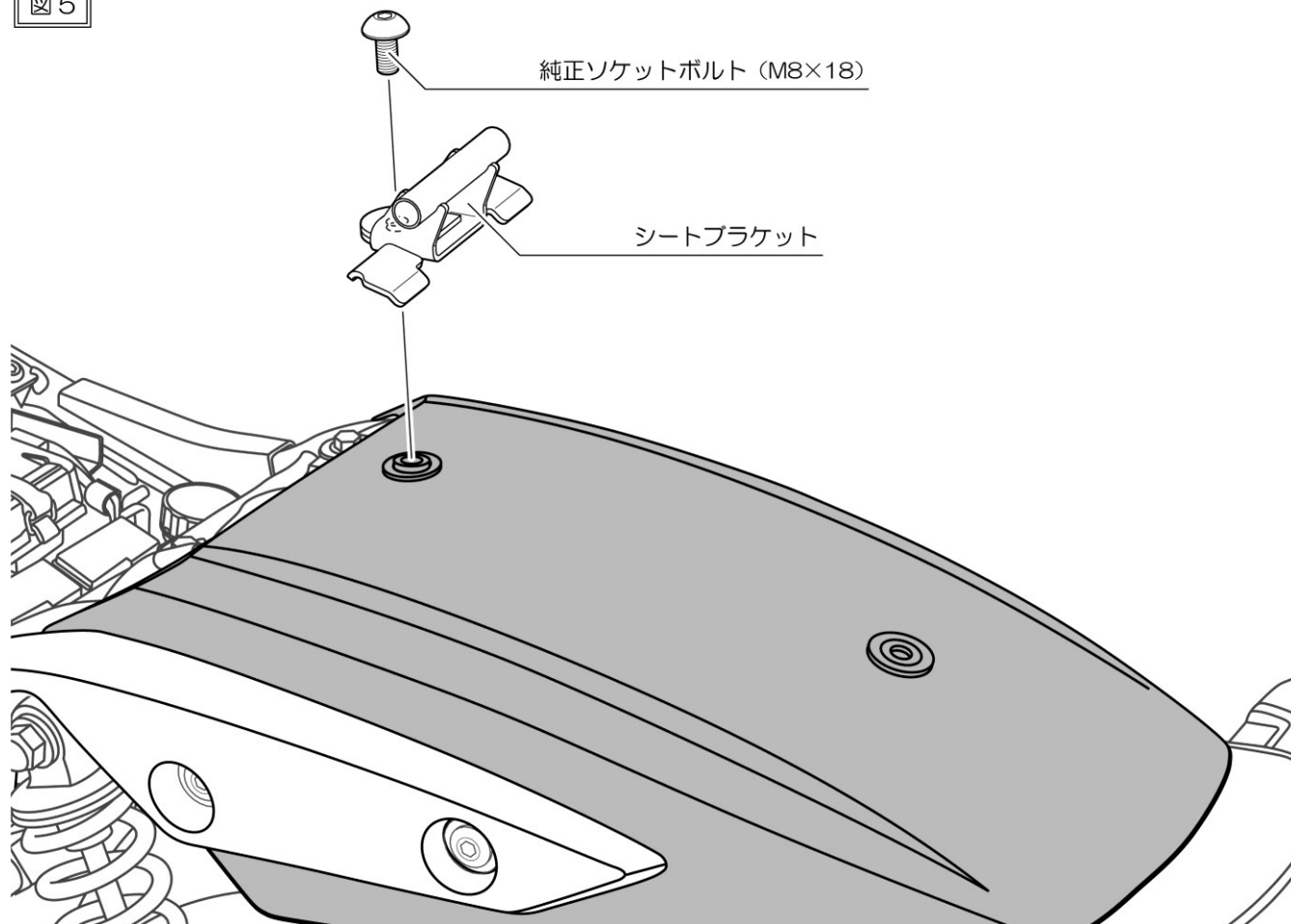
図 4



05. シートブラケットの取り外し 『C：リアカメラステー』

- ・図 5 を参考に、純正ソケットボルトを外して、シートブラケットを取り外します。

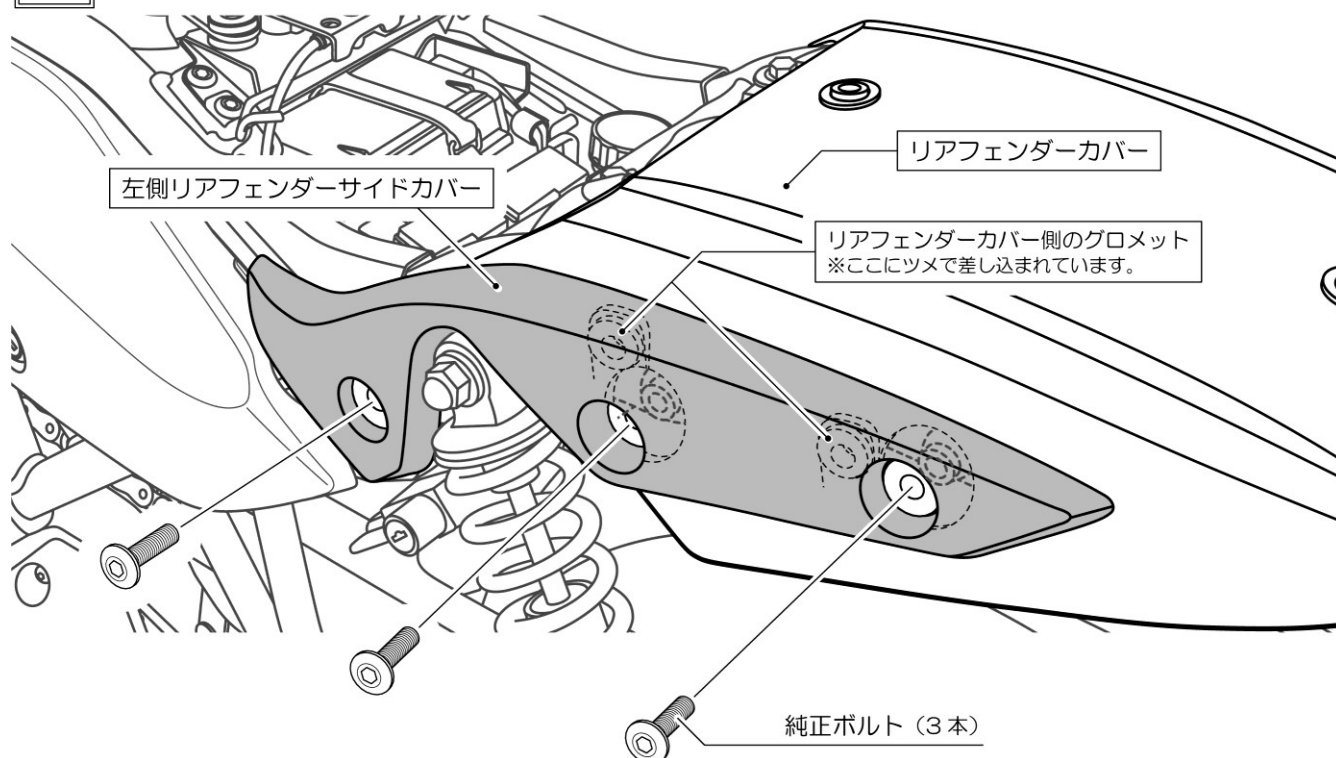
図 5



06. リアフェンダーサイドカバーの取り外し 『C：リアカメラステー』

- ・図 6 を参考に、左側の純正ボルト（3 本）を外し、左側リアフェンダーサイドカバーを取り外します。
※右側も同様に取り外します。

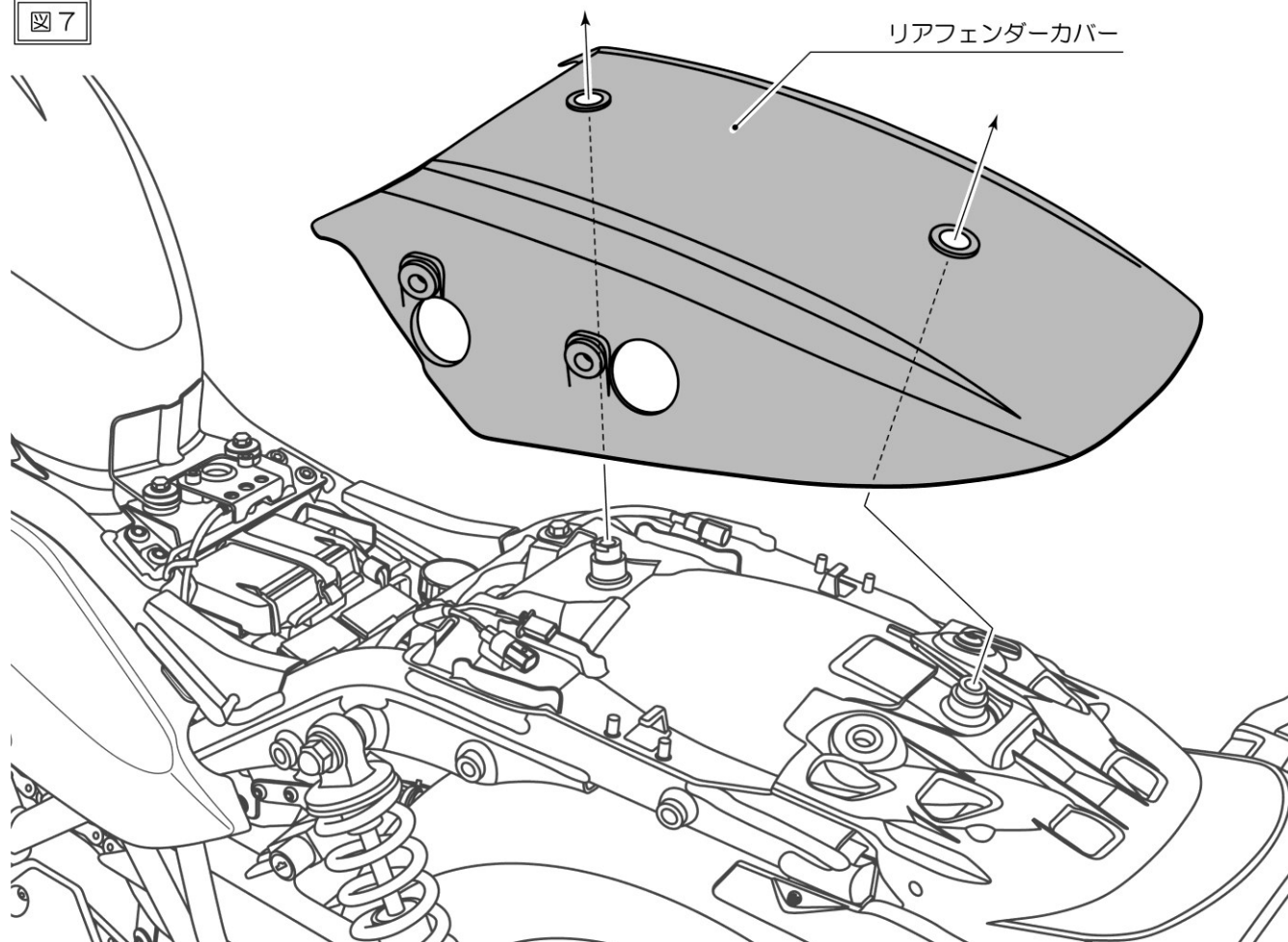
図 6



07. リアフェンダーカバーの取り外し 『C：リアカメラステー』

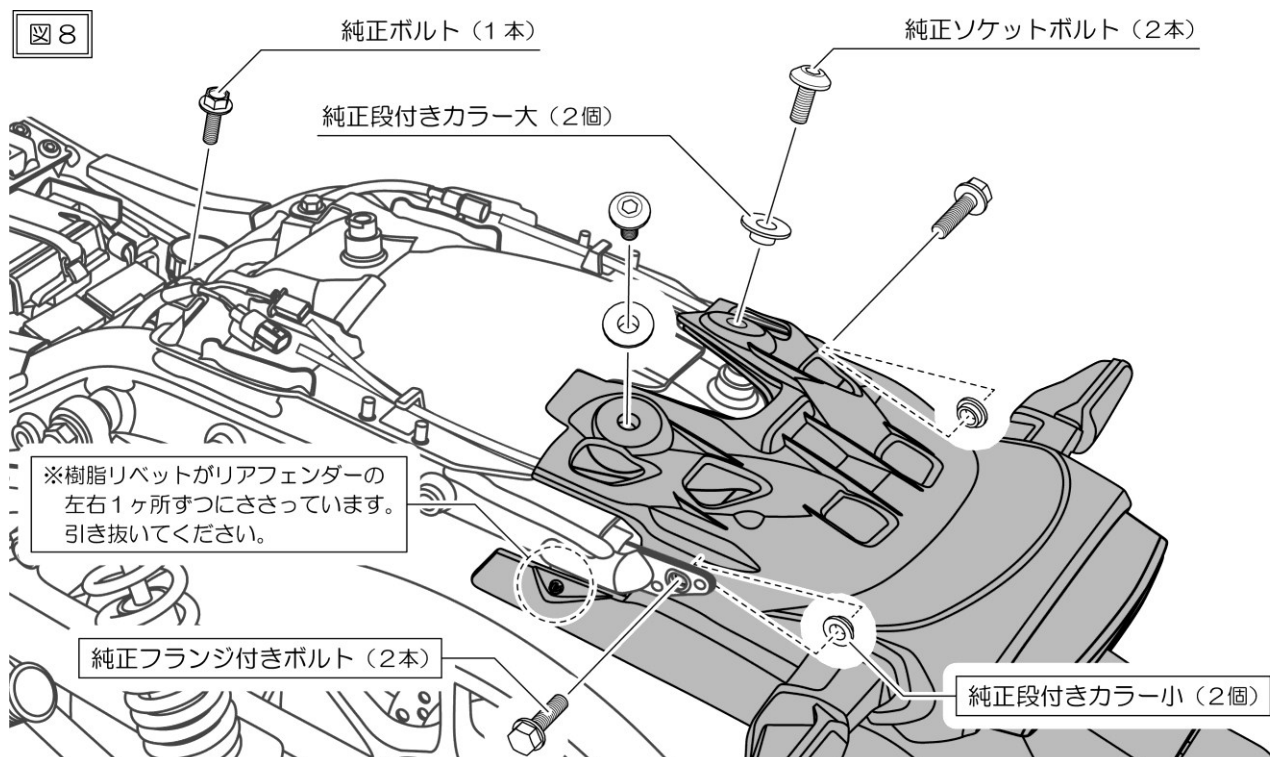
- ・図 7 を参考に、リアフェンダーカバーを取り外します。

図 7



08. リアフェンダーとインナーカバーの取り外し 『C：リアカメラステー』

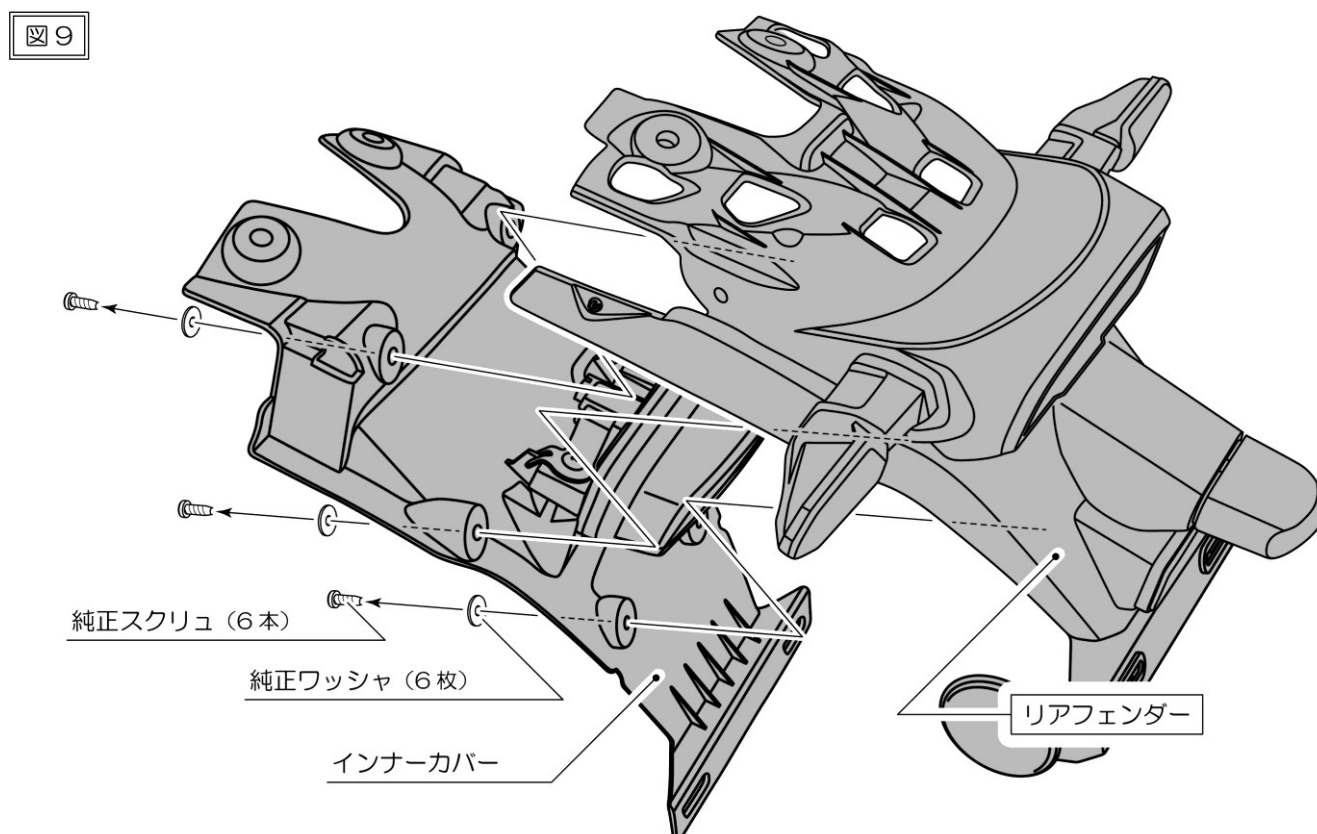
- ・ナンバープレートを取り外します。
- ・図8を参考に、純正ボルト（1本）を外して、リザーバタンクの固定を解除します。
※ブレーキフルードがこぼれないように注意してください。
- ・テールランプとライセンスラブ、左右ウインカーのカブラー接続を外します。
- ・純正ソケットボルト（2本）と純正段付きカラー大（2個）、純正フランジ付きボルト（2本）、純正段付きカラー小（2個）を取り外します。
- ・リアフェンダーの両サイドにはまっている樹脂リベットを解除し、リアフェンダーとインナーカバーを一緒に取り外します。



09. リアフェンダーとインナーカバーの分解 『C：リアカメラステー』

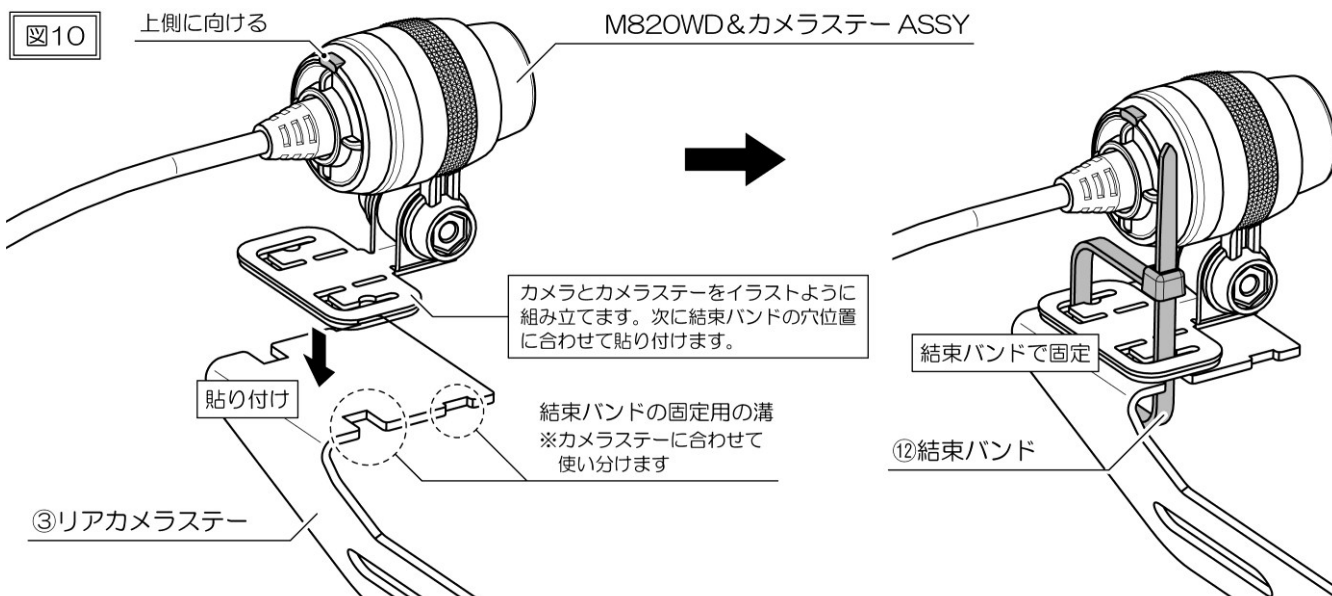
- ・図9を参考に、インナーカバー側より純正スクリュ（6本）と純正ワッシャ（6枚）を外して、リアフェンダーとインナーカバーを分解します。

※この作業はドライブレコーダーの配線を取りまわすための手順です。配線の取り回しができる程度に外してください。



10. リアカメラの取り付け 『C：リアカメラステー』

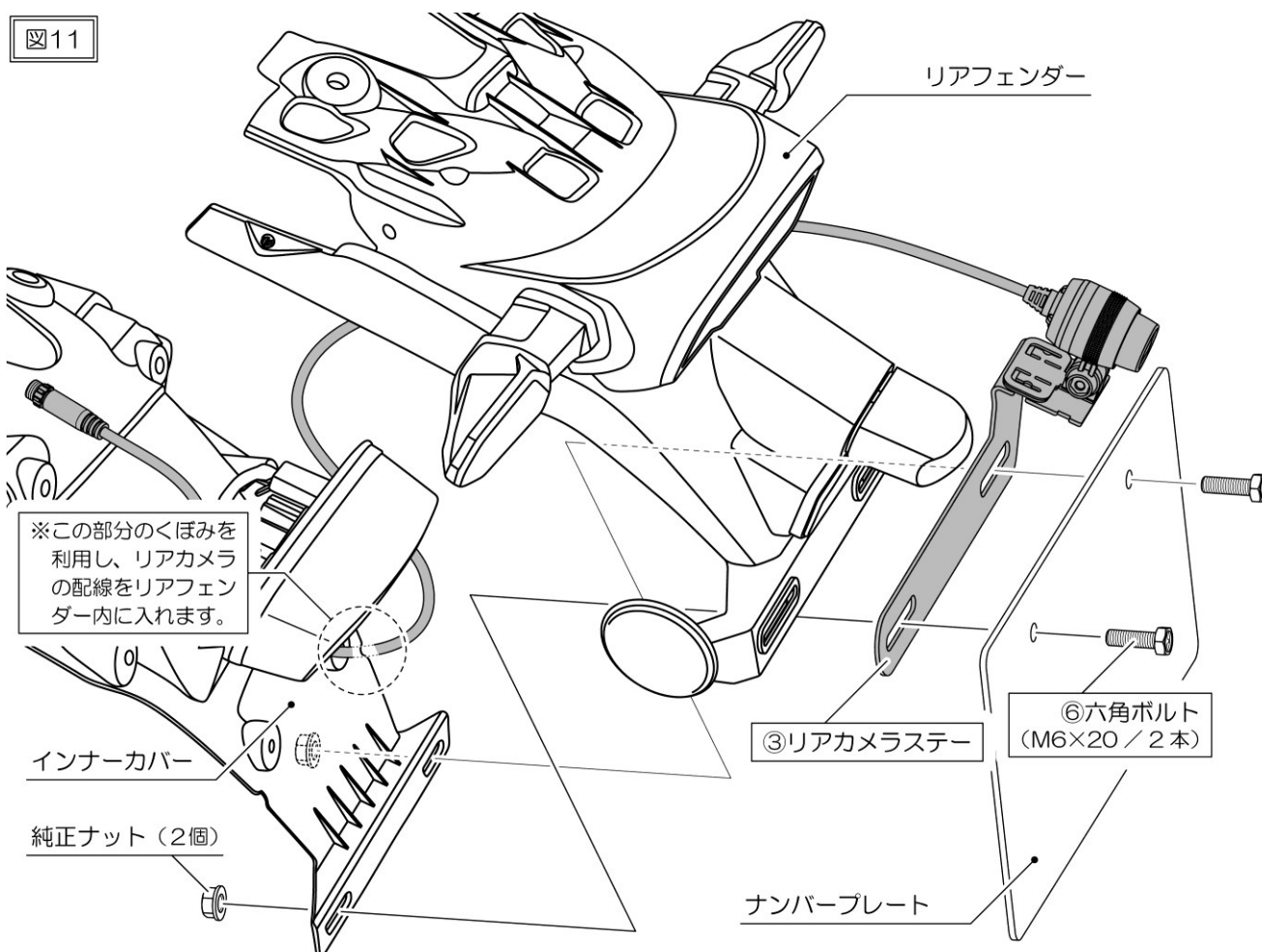
- ・図 10 を参考に、M820WD&カメラステー ASSY を③リアカメラステーの結束バンド用の穴位置に合わせて貼り付けします。
※カメラとカメラステーの組み付け向きに注意してください。
- ・⑫結束バンドで固定します。



※イラストは M820WD を取り付ける場合のイメージイラストです。M760D を取り付ける場合はイラストを参考にお取り付けください。

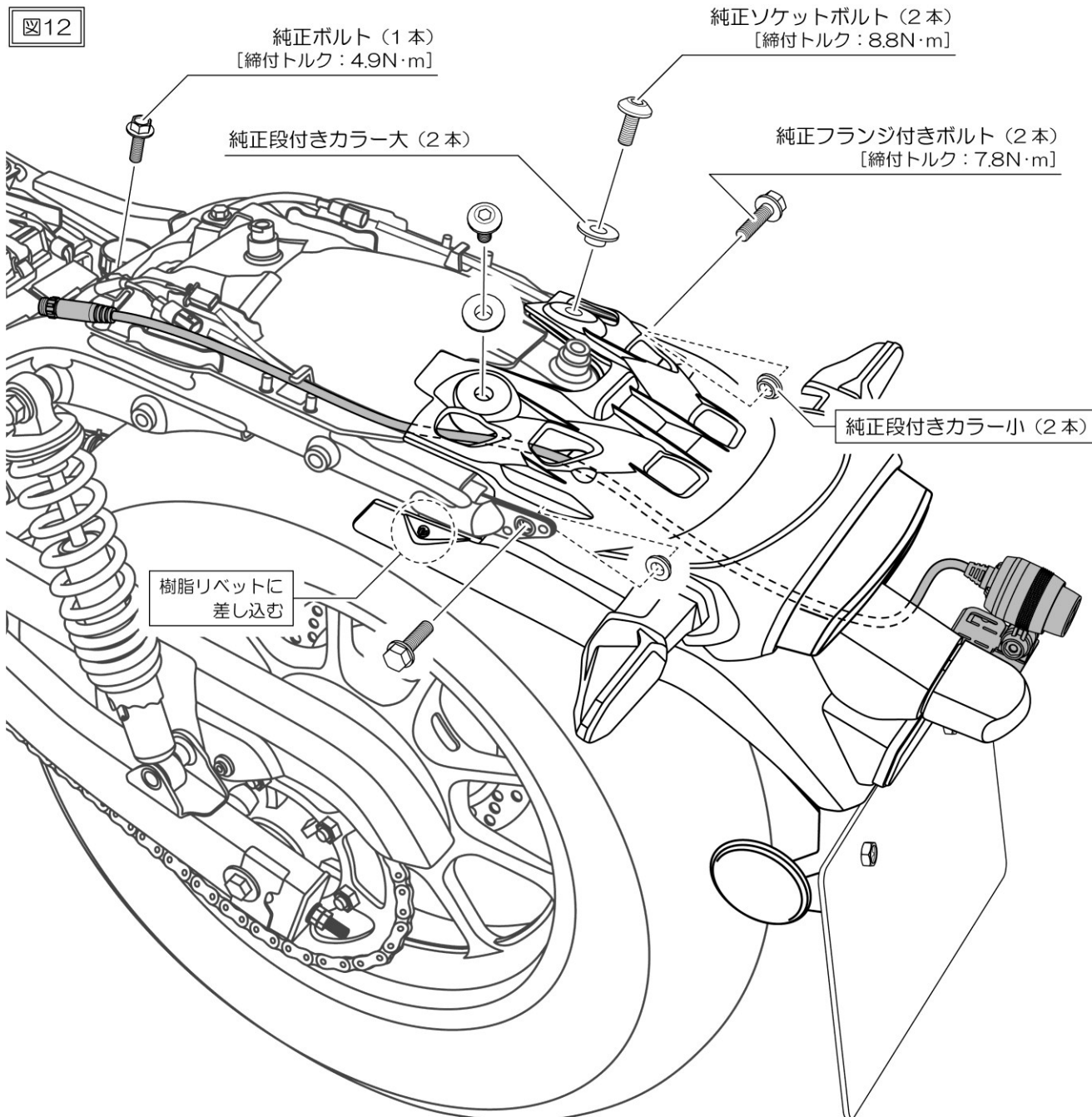
11. リアカメラステーの取り付けと配線の取り回し 『C：リアカメラステー』

- ・図 11 を参考に、リアカメラの配線をリアフェンダーとインナーカバーの間に通して仮組します。
- ・⑦六角ボルト (M6×20/2 本) と純正ナットを使用して、③リアカメラステーとリアフェンダー、インナーカバー、ナンバープレートと一緒に固定します。
- ・手順 09 を参考に、純正スクリュー (6 本) と純正ワッシャ (6 枚) を使用してリアフェンダーとインナーカバーを確実に組み付けリアフェンダー ASSY にします。



12. リアフェンダーASSYの取り付け 『C：リアカメラステー』

- ・図 12 を参考に、リアフェンダーASSY を車両へ取り付け、リアカメラの配線を取り回します。
- ・テールランプとライセンスランプ、左右ウインカーのカプラーを接続します。
- ・手順 07 と手順 06、手順 05 を参考にリアフェンダーカバーとリアフェンダーサイドカバー、シートブラケットを取り付けます。



13. 端子のカシメ加工 『D：電源ハーネス&本体』

・図 13 を参考に、⑧ギボシ端子オスと⑨クワ型端子をドライブレコーダーの 12V 電源ケーブルへカシメ加工します。

図13 各端子の取り付け

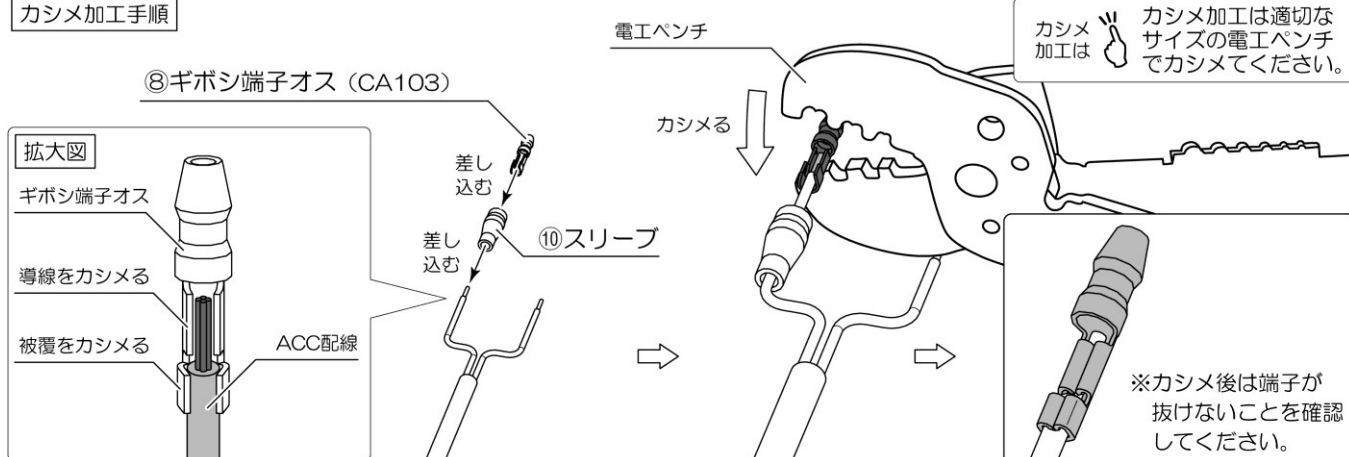
◇ドライブレコーダーの12V電源ケーブルへ、下の各端子をカシメ加工してください。

※カシメ加工手順のイラストはCA103端子をカシめる例です。

※12V電源ケーブルの配線色は変更される場合がございます。ご注意ください。



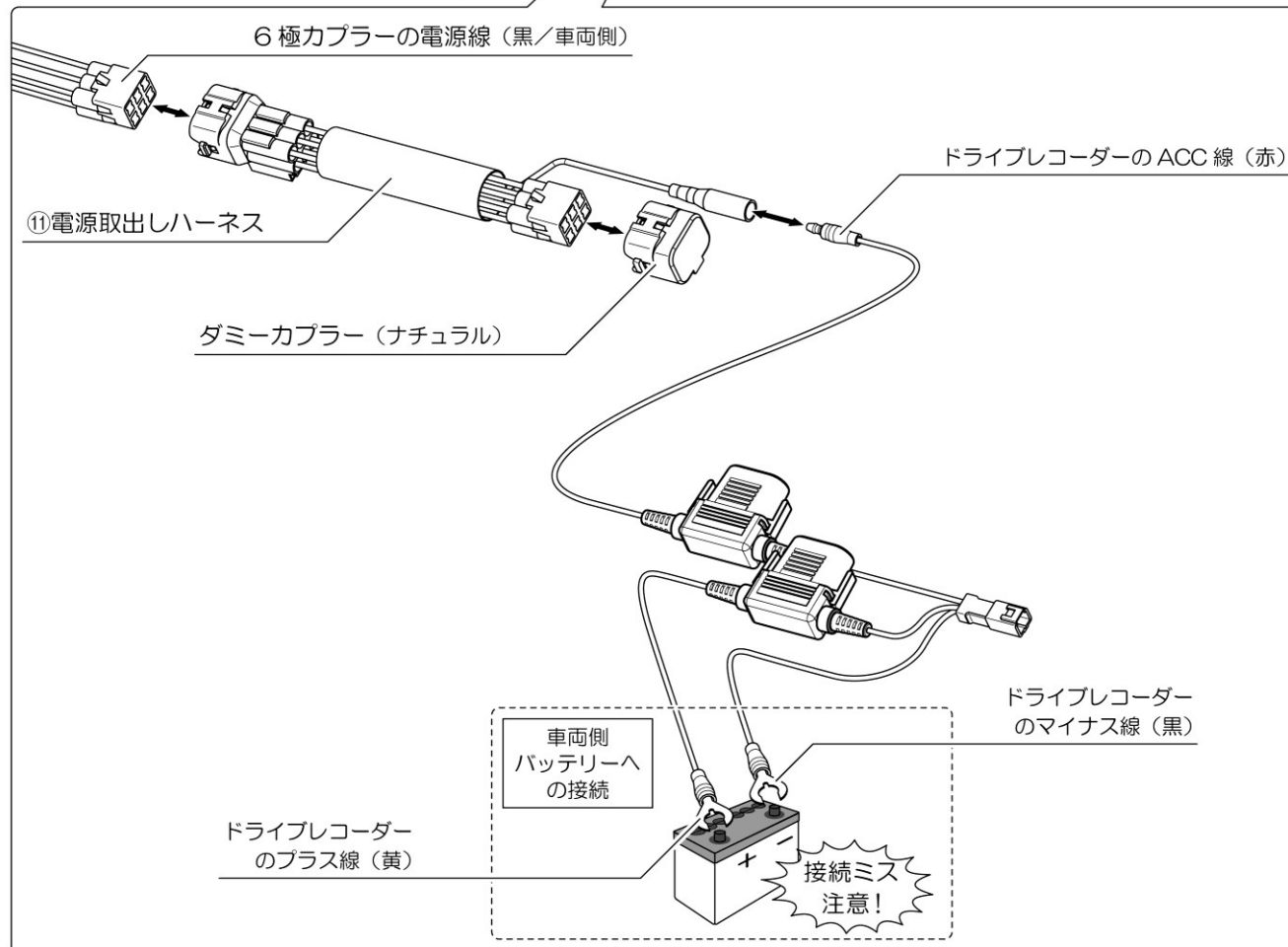
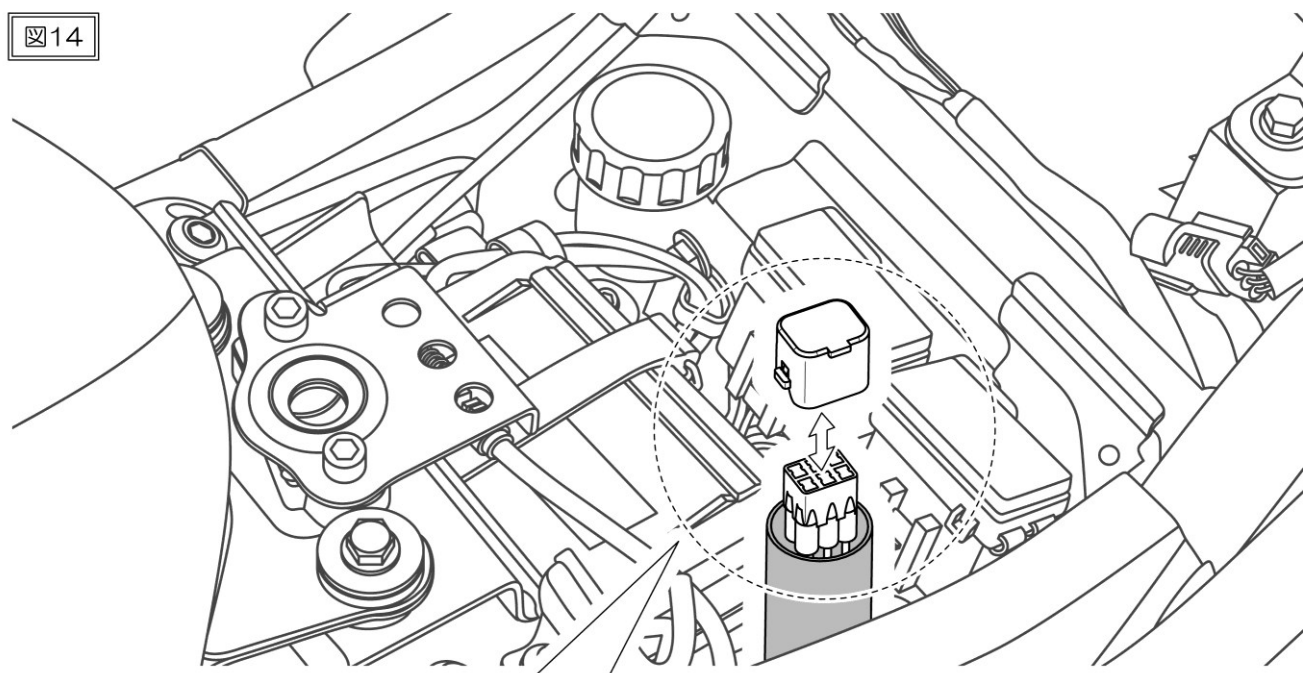
カシメ加工手順



14. 電源ハーネスの接続 『D：電源ハーネス&本体』

- ・図 14 を参考に、バッテリー左側にあるハーネスブーツ内に収まっている 6 極カプラー（黒）の配線を取り出します。
- ・6 極カプラー（黒）よりダミーカプラー（ナチュラル）を取り外し、⑪電源取出しハーネスを接続します。
- ・ドライブレコーダーの ACC 線（赤）を⑪電源取出しハーネスに接続します。
- ・ドライブレコーダーのプラス線（黄）とマイナス線（黒）を車両側バッテリーのプラスとマイナスへ接続します。

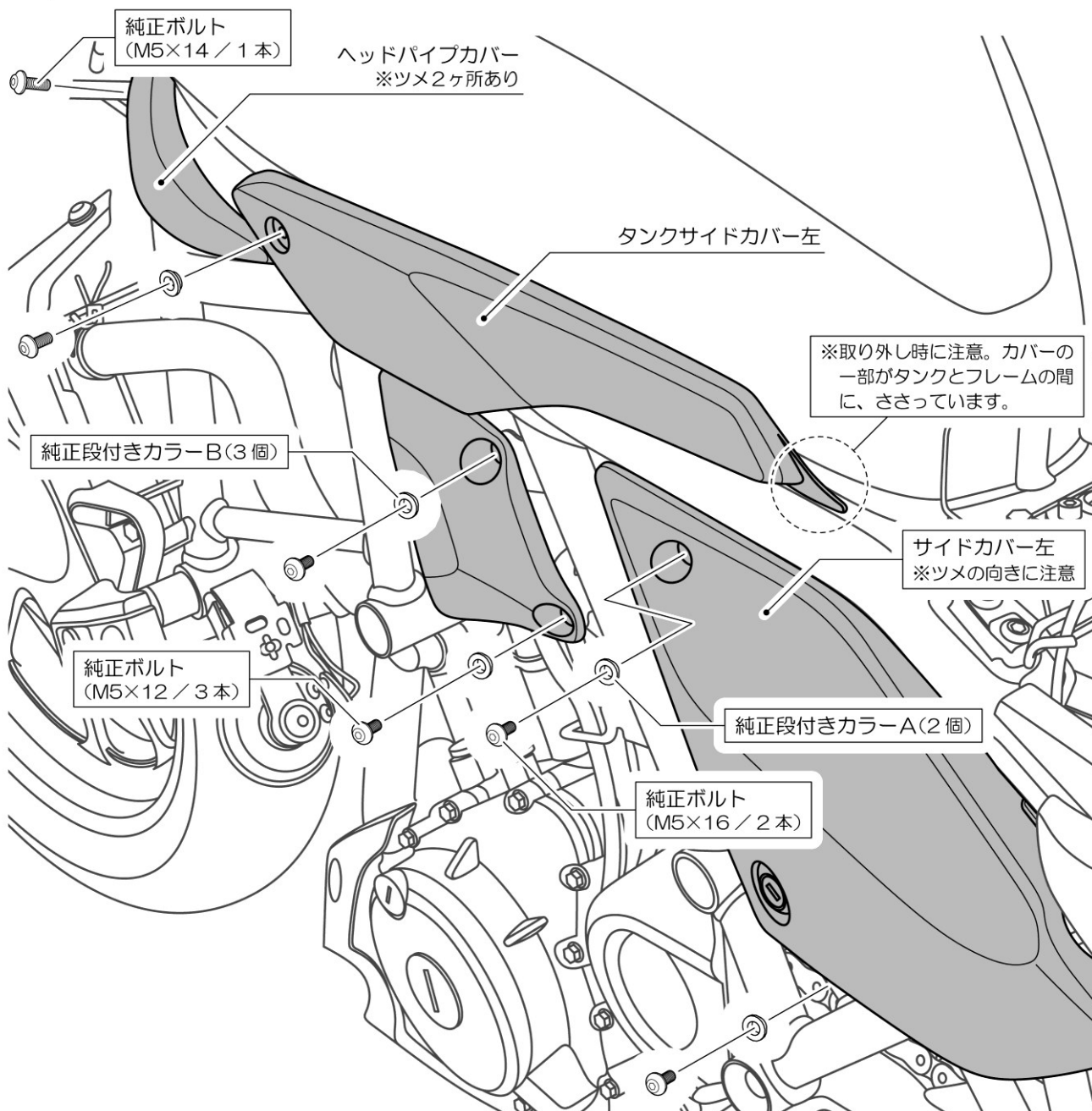
図14



15. サイドカバー左とタンクサイドカバー左、ヘッドパイプカバーの取り外し 『D：電源ハーネス&本体』

- 図 15 を参考に、純正ボルト (M5×16 / 2 本) と純正段付きカラー A (2 個) を外し、サイドカバー左を取り外します。
- 純正ボルト (M5×12 / 3 本) と純正段付きカラー B (3 個) を外し、タンクサイドカバー左を取り外します。
- 純正ボルト (M5×14 / 1 本) を外し、ヘッドパイプカバーを取り外します。

図15



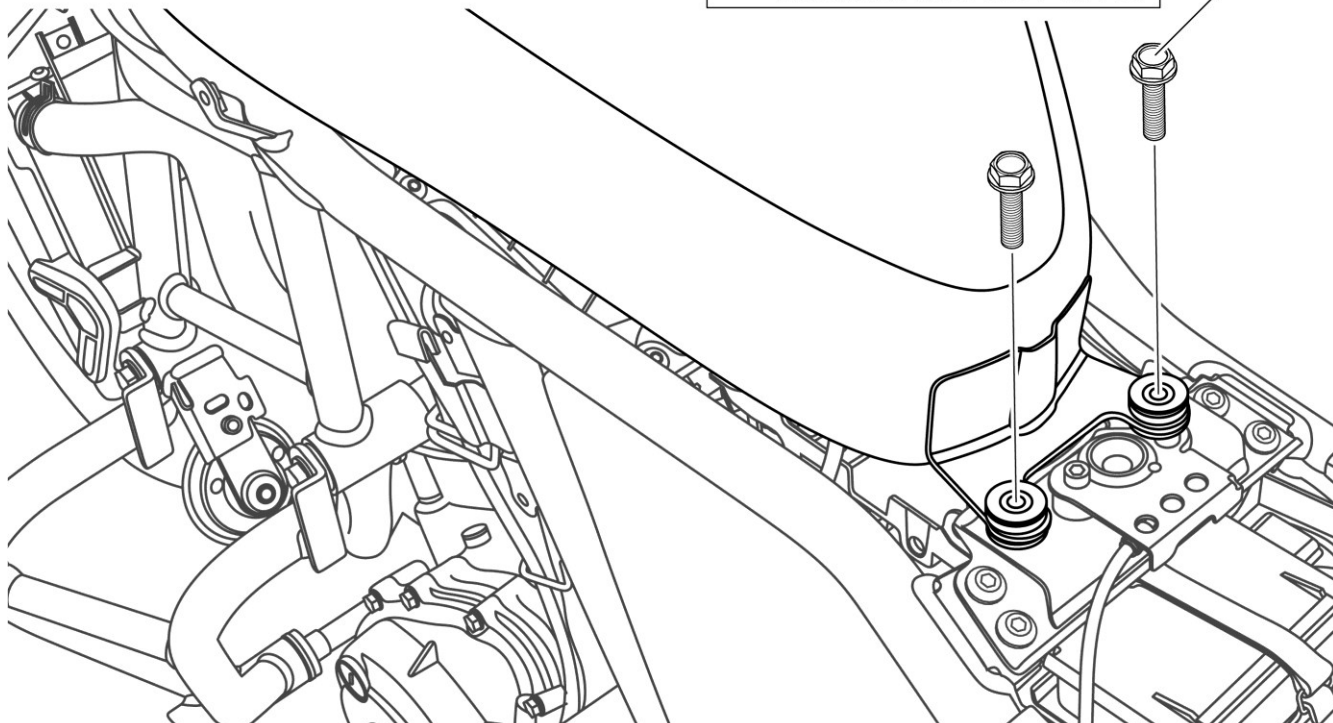
16. タンクブラケットの取り外し 『D：電源ハーネス&本体』

- ・図 16 を参考に、タンクマウントボルト（M6×25／2 本）を取り外します。
- ・タンクブラケットを固定しているブラケットボルト（M6×14／4 本）とケーブルガイドを取り外します。
- ・タンクを少しだけ持ち上げて、タンクブラケットを避けます。

※タンクブラケットでキズを付けないようにウエスなどを巻き付け、邪魔にならない場所へ避けてください。
またタンクはドライブレコーダー本体を取り付けるまで、少しだけ持ち上げた状態で保持してください。

図16

タンクマウントボルト（M6×25／2 本）
※取り付け時 [締付トルク：10N・m]



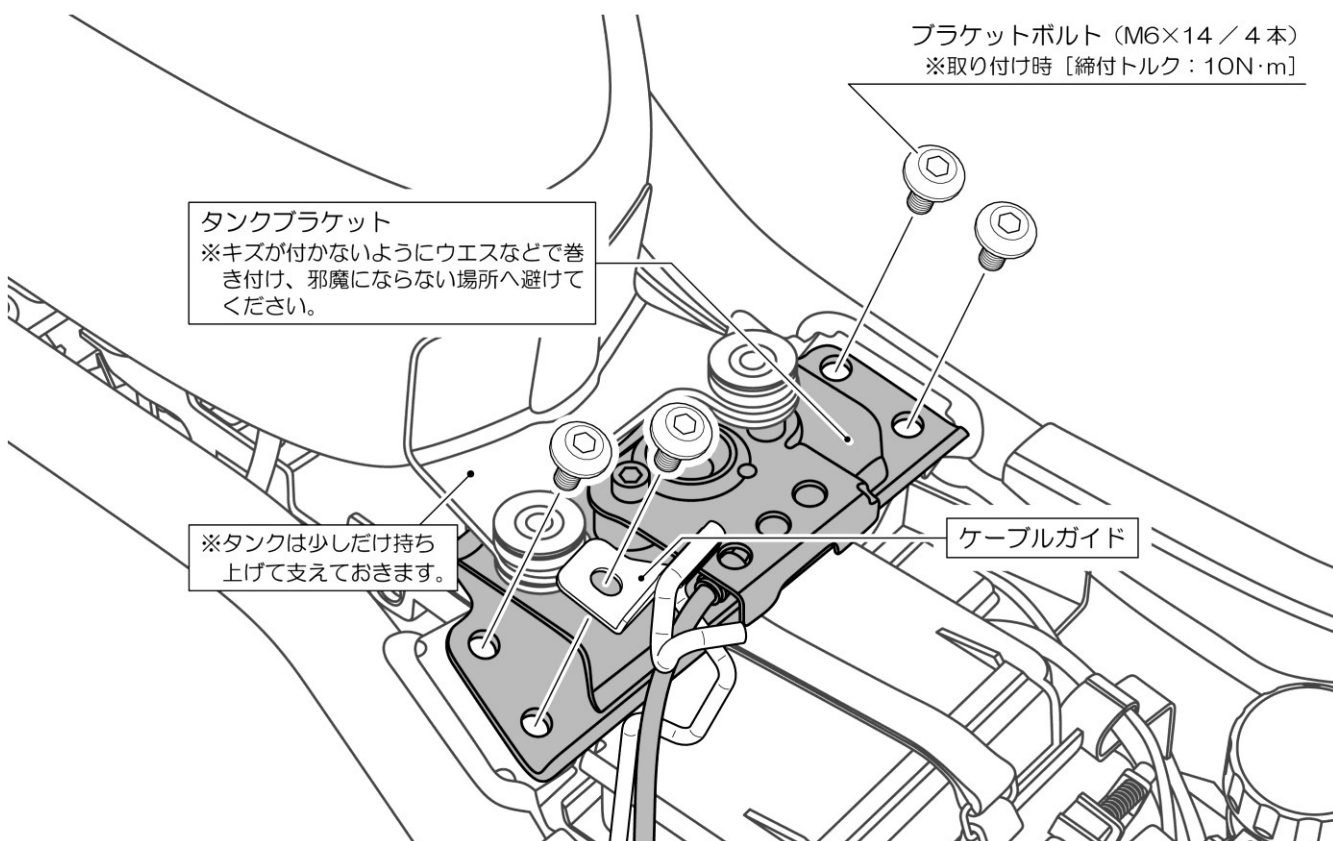
ブラケットボルト（M6×14／4 本）
※取り付け時 [締付トルク：10N・m]

タンクブラケット

※キズが付かないようにウエスなどで巻き付け、邪魔にならない場所へ避けてください。

※タンクは少しだけ持ち上げて支えておきます。

ケーブルガイド

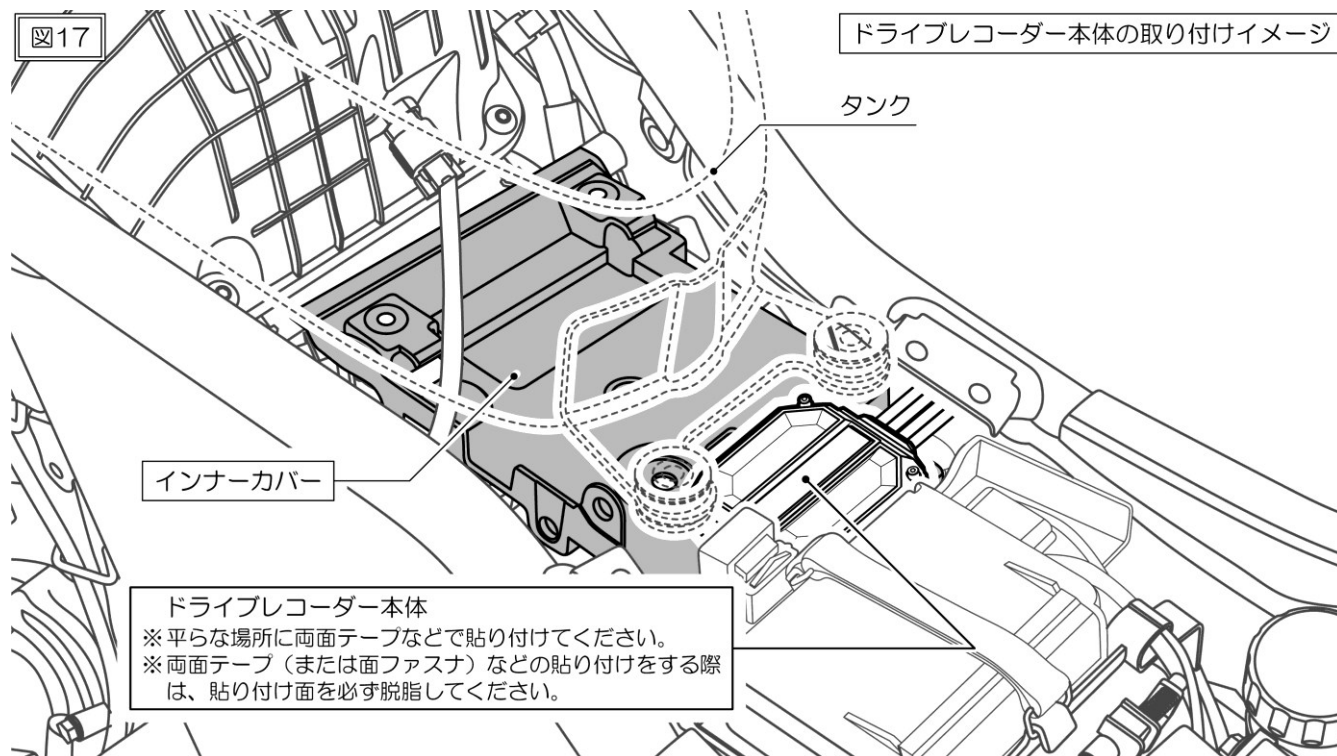


17. ドライブレコーダー本体の取り付け 『D：電源ハーネス&本体』

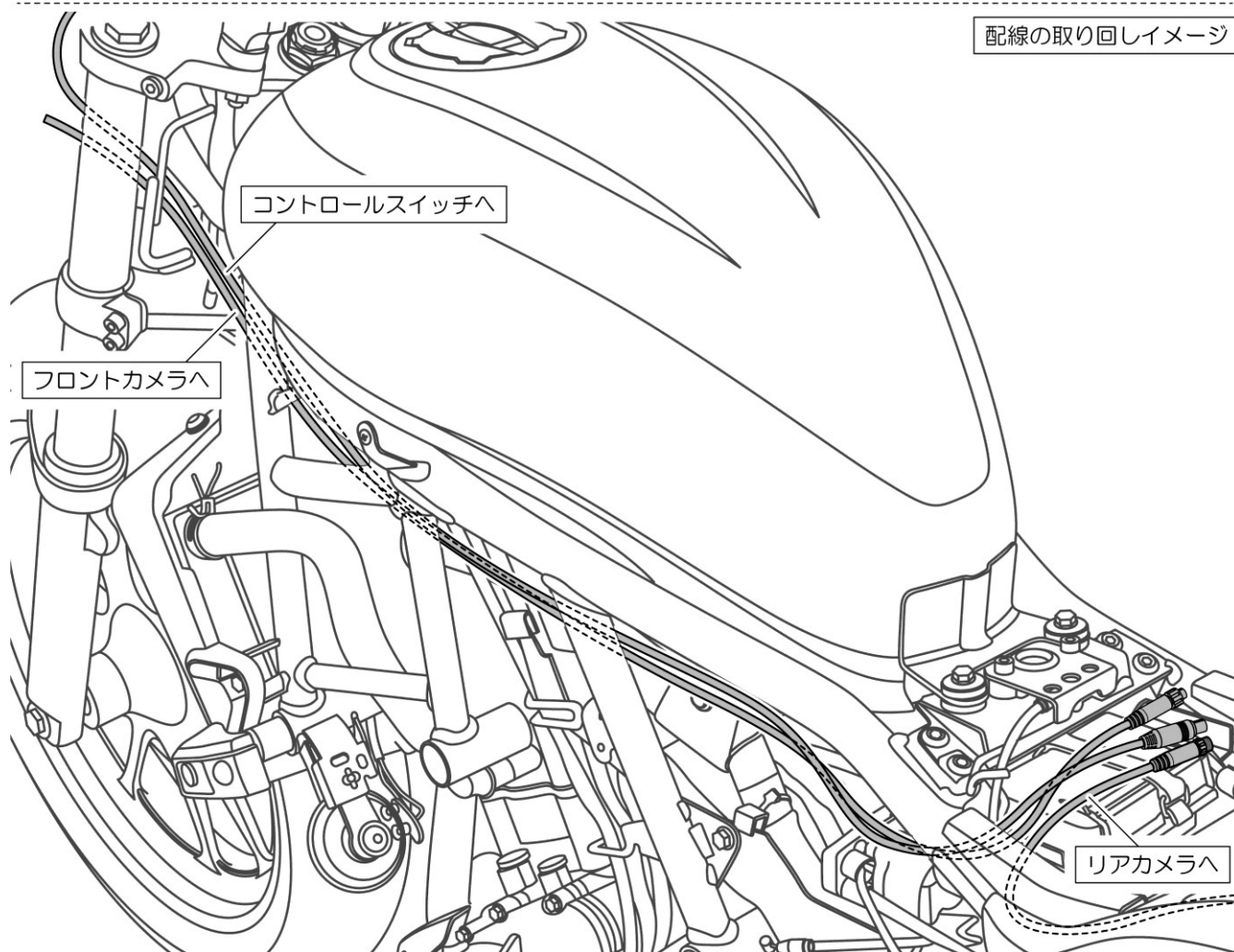
- ・図 17 を参考に、インナーカバーへドライブレコーダー本体を貼り付けます。
- ・ドライブレコーダーの各配線を邪魔にならないように取り回して接続します。
- ・手順 16 を参考にタンクブラケットとケーブルガイドを元に戻し、タンクを固定します。
- ・手順 15 を参考にヘッドパイプカバーとタンクサイドカバー左、サイドカバー左を元に戻します。
- ・シートを取り付け、各部を点検し、異常が無ければ作業は終了です。

図17

ドライブレコーダー本体の取り付けイメージ



配線の取り回しイメージ



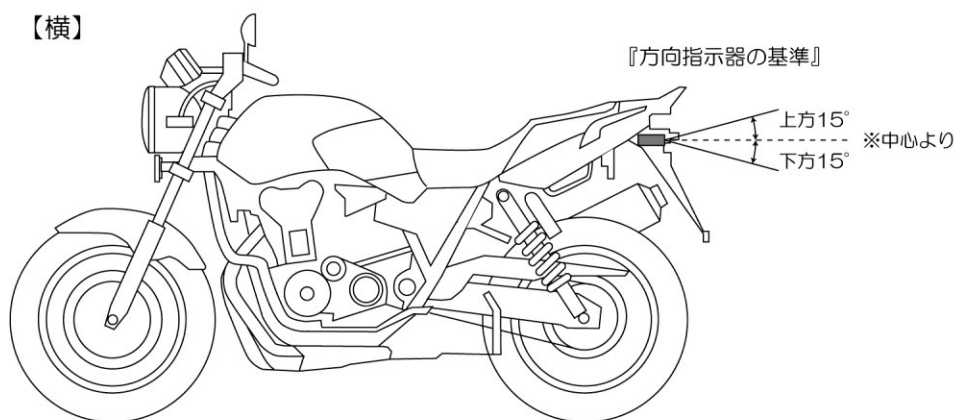
18. 保安基準の確認（リアカメラ取り付け時） 『E：保安基準』

- ・リアにドライブレコーダーを取り付ける際は下の保安基準イラストを参考に方向指示器や尾灯、制動灯、後部反射器の規定範囲を覆わないように取り付けを行なってください。

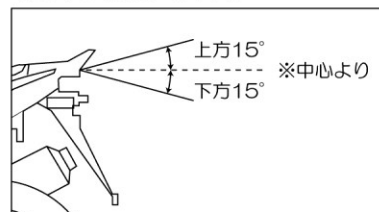
【保安基準 方向指示器/尾灯/制動灯/後部反射器の規定イラスト】

※イラストの範囲内をドライブレコーダーで覆うと保安基準に抵触します。
範囲内に入らないように位置を調整してください。また調整できない場合はご使用を中止してください。

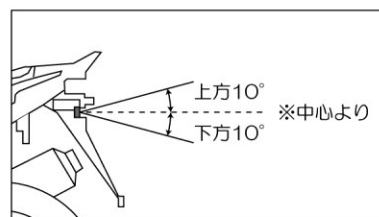
【横】



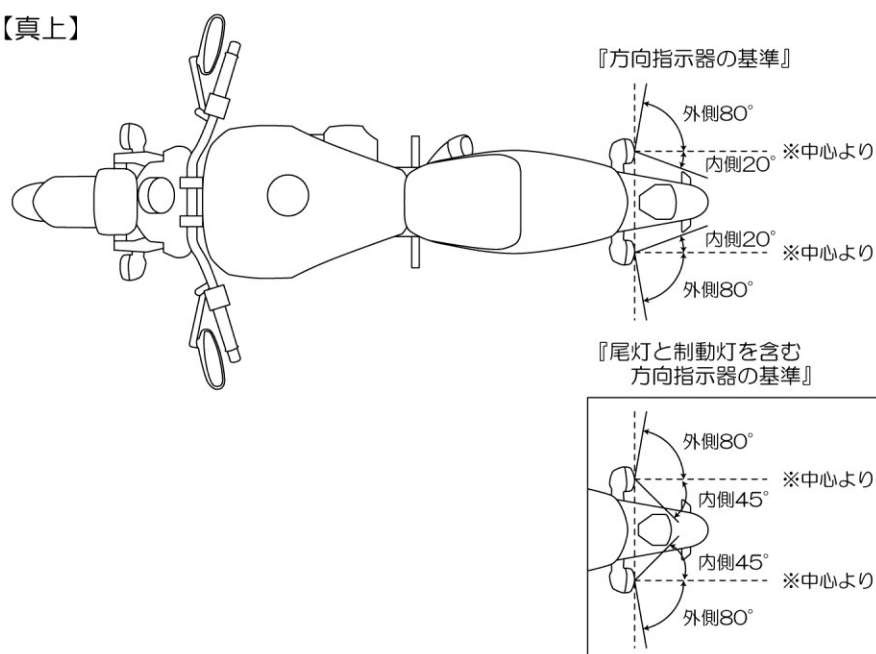
『尾灯と制動灯の基準』



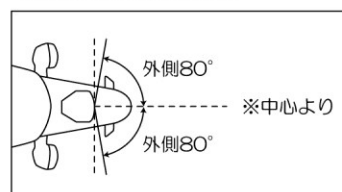
『後部反射器の基準』



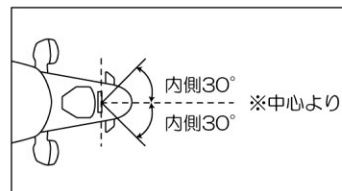
【真上】



『尾灯と制動灯の基準』



『後部反射器の基準』



17. 点検作業

- ・ハンドルを左右にきって接触する部分が無いか、ケーブルや配線が挟まれたり無理に引っ張られていないか、運転操作に影響が無いか確認してください。
- ・異常が無ければ作業は終了です。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限り、個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

3. 下記のアドレス（またはQRコード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以て、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

<https://www.daytona.co.jp>